

事業活動地球温暖化対策結果報告書

(あて先) 川崎市長

郵便番号 150-0013
 住 所 東京都渋谷区恵比寿四丁目1番18号
 氏 名 株式会社 アトレ
 代表取締役社長 一ノ瀬 俊郎

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

川崎市地球温暖化対策の推進に関する条例第10条第1項の規定により、次のとおり提出します。

事業者の氏名 又は名称	株式会社 アトレ		
主たる事務所 又は事業所の所在地	川崎区駅前本町26番地1		
該当する事業者 の要件	<input checked="" type="checkbox"/> 規則第4条第1号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第2号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第3号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 規則第4条第4号該当事業者		
	<input type="checkbox"/> 上記以外の事業者 (任意提出事業者)		
主たる事業 の業種	大分類	K	不動産業、物品賃貸業
	中分類	69	不動産賃貸業・管理業
主たる事業 の内容	不動産賃貸業		
事業者の規模	<input checked="" type="checkbox"/> 原油換算エネルギー使用量	2,995	k l
	<input type="checkbox"/> 自動車の台数		台
	<input type="checkbox"/> エネルギー起源の二酸化炭素 以外の温室効果ガスの排出の量		t-CO ₂

(第2面)

計画期間及び報告年度	平成28年度 ~ 平成30年度 (報告年度 平成30年度分)
温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況及び温室効果ガスの排出の量	別添 指針様式第2号のとおり
温室効果ガスの排出の量の削減目標を達成するための措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況	別添 指針様式第2号のとおり
その他地球温暖化対策の推進への貢献に係る事項	別添 指針様式第2号のとおり
備 考	弊社の環境経営の取り組みについてはホームページに公表しています。 http://www.atre.co.jp/company/activity/environment.html

- 備考 1 欄内にすべてを記載できない場合は、別紙により提出してください。
- 2 □のある欄は、該当する□内にレ印を記載してください。
- 3 報告書には、事業活動地球温暖化対策指針に定める資料を添付してください。
- 4 ※印の欄は記入しないでください。
- 5 氏名(法人にあっては、その代表者)を記載し、押印することに代えて、本人(法人にあっては、その代表者)が署名することができます。

事業活動地球温暖化対策結果報告

1 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成状況 (第1号、第2号、第4号該当者等)

(1) 温室効果ガスの排出の量の状況 (排出係数固定)

ア 計画期間の温室効果ガスの排出の量

	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標排出量
排出量	(実) 5,105 (調) 5,196 t-CO ₂	(実) 5,057 (調) 5,147 t-CO ₂	(実) 5,097 (調) 5,188 t-CO ₂	(実) 6,543 (調) 6,653 t-CO ₂	(実) 5,054 t-CO ₂
削減率		(実) 0.9 % (調) 0.9 %	(実) 0.2 % (調) 0.2 %	(実) -28.2 % (調) -28.0 %	(実) 1.0 %

イ 計画期間の温室効果ガスの排出の量に係る原単位等の値

原単位の活動量	延床面積×年間営業時間		単位	t-CO ₂ / (千m ² ・千h)	
	基準年度	第1年度	第2年度	第3年度	目標年度の値
排出量原単位等の値	25.10	24.14	23.53	26.77	24.85
削減率		3.8 %	6.3 %	-6.7 %	1.0 %

ウ 計画期間の温室効果ガスの排出の量の状況についての説明

第1年度	7月8月は、館内の快適性も考慮し空調機の運転調整を行った。 基準年度比で電気使用量は99,181kwh/年削減できた。しかしガス使用量は3,307m ³ /年増加となった。結果として温室効果ガスの排出量は、基準年度比0.9%の削減、原単位も3.8%削減につながった。
第2年度	8月から翌年2月まで、店舗改装を行った。閉鎖区画は、空調機の停止など運転調整を行った。 基準年度比で電気使用量は20,56千kwh/年削減できた。しかし空調機の運転時間が増えガス使用量は1,29千m ³ /年増加となった。結果として温室効果ガスの排出量は、基準年度比0.2%の削減、原単位は、6.3%削減につながった。
第3年度	前年度2月より、排出量原単位の大きい川崎駅構内において、新たにエギナカ店舗が増床開業した。また、当年度は夏季の記録的猛暑に加え、年間を通して相対的に外気温が高く、冷房にかかる負荷が平年より大きかった。これら要因により、基準年度比で電気使用量は1,922千kwh/年増加となった。ガス使用量は、当年度6月に熱源設備を更新し、以前から課題となっていた館内負圧による夏季冬季の外気流入に対する環境改善・クレーム対策として、これまでの個別空調重視からセントラル空調を主運転としたことにより、161千m ³ /年増加となった。結果として温室効果ガスの排出量は、基準年度比28.2%の増加、原単位は、6.7%増加となった。当計画期間においてはLED化の推進、熱源空調設備の更新を実施したが、増床や気候の影響により、目標排出量[5,054t-CO ₂]に対し、1,489t-CO ₂ の増加となった。

(2) 温室効果ガスの排出の量の状況 (全社目標)

前年度エネルギー原単位に対して、1%削減。

3 温室効果ガスの排出の量の削減目標の達成するための措置の実施状況

(1) 温室効果ガスの排出の量の削減のための措置の実施状況

事業所等 (第1号、第2号、第4号該当者等)	計 画	空調設備の運転管理を行い電気使用量を削減していく。
	第1年度	過去の計画期間から継続して以下の内容を実施。 1. 熱源設備の運用管理 1) 主要熱源設備である冷温水発生機の運用方法の見直し。 2) 夏季において外気温に合わせた発停運転。 3) 冷温水ポンプ流量インバータ制御実施。 2. 外調機のCO2濃度インバータ制御実施。 3. 空調設備の間欠運転実施。
	第2年度	・第1年度の内容を継続して実施。
	第3年度	・第1年度の内容を継続して実施。 ・一部の照明のLED化の推進 ・熱源設備、熱搬送設備、空気調和設備、換気設備をエネルギー効率の高い機器に更新した。
自動車等 (第3号該当者等)	計 画	
	第1年度	
	第2年度	
	第3年度	

(2) 再生可能エネルギー源等の利用実績

ア 再生可能エネルギー源等の利用に係る考え方

なし

イ 計画期間の再生可能エネルギー源等の利用実績

設備等の種類	概要(規模、導入場所、性能等)	導入年度	備考
	なし		

ウ 計画期間の再生可能エネルギー源等の価値の保有実績

種類	概要(規模、場所等)	保有年度	備考
	なし		

4 他の者の温室効果ガスの排出の抑制等に寄与する措置の実施状況

計 画	なし
第1年度	なし
第2年度	なし
第3年度	なし

5 その他地球温暖化対策の推進への貢献の実施状況

計 画	・廃棄物のリサイクル率の向上 ・グリーン購入の推進
第1年度	・廃棄物のリサイクル率の向上 : 一般廃棄物 78.6 % : 産業廃棄物 100.0 % を達成 ・グリーン購入の推進 : 100%を達成
第2年度	・廃棄物のリサイクル率の向上 : 一般廃棄物 74.9 % : 産業廃棄物 100.0 % を達成 ・グリーン購入の推進 : 100%を達成
第3年度	・廃棄物のリサイクル率の向上 : 一般廃棄物 67.5% : 産業廃棄物 100.0 % を達成 ・グリーン購入の推進 : 100%を達成

6 前年度の温室効果ガスの排出の量等の実績（排出係数反映）

(1) 事業者単位

ア 第1号、第2号、第4号該当者等

(実)	5,307	t-CO ₂
(調)	5,506	

イ 第3号該当者等

(実)		t-CO ₂
(調)		

(2) 事業所等単位（第1号、第2号該当者等）

ア 年間の原油換算エネルギー使用量が1,500kl以上の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
アトレ川崎	川崎区駅前本町26番地1	6911	不動産賃貸業	5,307 t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl以上1,500kl未満の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

ウ 年間の原油換算エネルギー使用量が原油換算で500kl未満の事業所の一覧

エネルギー使用量の規模	事業所数
400～500kl 未満	
300～400kl 未満	
200～300kl 未満	
100～200kl 未満	
100kl 未満	

(3) 事業所等単位（第4号該当者等）

ア 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t以上（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の一覧

事業所の名称	事業所の所在地	日本標準産業分類 細分類番号	事業所に係る 事業の名称	温室効果ガス の排出の量
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂
				t-CO ₂

イ 物質ごとの年間の温室効果ガスの排出の量（二酸化炭素換算）が3,000t未満（二酸化炭素の場合はエネルギー使用に伴い排出したものを除く。）の事業所の数

事業所数	
------	--